

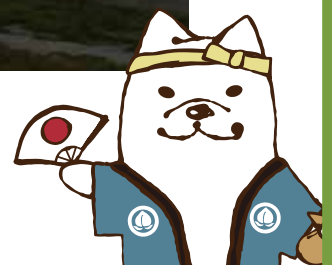
わたしのまちの **とっておき** 文化遺産！

犬山たび

城・古戦場の巻



犬山市文化遺産活用実行委員会



犬山たび城・古戦場編

目次

犬山城	三
木之下城跡	五
愛宕神社	六
了義山徳授寺	七
犬山城下町	八
内田門	九
各地に残る犬山城の城門	十
羽黒城跡	十一
羽黒城古墳	十二
妙國山興禪寺	十三
楽田城跡	十四
萬祥山常福寺	十五
八幡林の古戦場	十六
青塚砦	十七
物狂峠・野呂塚	十八
犬山市内地図	十九、二十
小牧・長久手の戦い年表	二十一
引用・参考文献一覧、たびにオススメの資料	二十二

たびの案内人



久々キギス丸



モモ次郎と仲良しの雉。好きな食べ物はカレーライス。畑で採れた野菜を一杯入れた栄養満点のカレーは絶品。



犬山モモ次郎

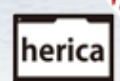
その昔、桃太郎と一緒に鬼退治に出かけた勇敢なわんこ。犬山の「田楽」が大好き。あつあつのうちに食べるのが好き。お肉は苦手。





犬山城

木曾川に守られた後堅固な城



犬山の代名詞 国宝、犬山城

犬山城は、天文6年（1537）に織田信康によって築城されました。天文16年（1547）、信康の死に伴い、子の信清へと引き継がれましたが、信清は織田信長と領地争いから対立して攻められ、犬山城は落城し信清は逃亡しました。代わって犬山城には織田信長の家臣池田恒興が入城しました。

天正10年（1582）「本能寺の変」で織田信長が倒れると後継者争いから、天正12年（1584）に秀吉と徳川家康・織田信雄（信長次男）との間で「小牧・長久手の戦い」がはじまりました。当時の犬山城主は信雄の家臣中川定成でしたが、再度池田恒興により落城されました。以後小牧山に陣を構えた家康とにらみあいが続きましたが、両者の間で和が結ばれ、犬山城は信雄に返還されました。

その後も犬山城主はめまぐるしく変わりましたが、慶長12年（1607）尾張藩付家老として城主となった平岩親吉の後、元和3年（1617）に成瀬正成が城主となって以後は、幕末まで成瀬家が代々城主を務めました。明治の廃藩置県後は愛知県の所有となりますが、その後成瀬家に返還され、平成16年（2004）に、財団法人（現公益財団法人）犬山城白帝文庫に移管するまで日本で唯一の個人所有の城でした。昭和10年（1935）には国宝に指定され、現在も犬山のシンボルとして愛されています。

犬山城

築城主：織田信康

築城年：天文6年（1537）

アクセス：名鉄「犬山遊園駅」より徒歩15分



🍁 犬山城石垣



🍁 天守を支える太い梁



🍁 付櫓から見える風景



🍁 犬山城望楼から見える伊木山



木^き之^の下^{した}城^{じょう}跡^{あと}

犬山城
関連

herica



犬山城の前身
謎の木之下城

犬山市立図書館の南側に愛宕神社^{あたご}があります。この愛宕神社が鎮座する周辺にかつて「木之下城」が存在していました。その実態はよくわかっていません。愛宕神社を含めた城の中心地は南北400メートル・東西250メートルの区画が存在した可能性があります。

通説では木之下城について次のように描かれています。15世紀後半に起こった応仁の乱により、美濃国の守護代であった斉藤妙椿^{みさうちん}が斯波義敏^{しばよし}の領地である尾張地域を攻略するため、鵜沼に進軍、これを察した義敏の臣であった織田広近が、その防御のため文明元年（1469）5月に城砦を現在の木之下地区に築いたのがはじまりとされています。織田広近は現在の大口町に所在する小口城^{おぐち}を拠点とし、木之下城を支城として護りを固めました。以後は代々織田氏が居城し、六代目とされる織田信康が天文6年（1537）に木之下城を廃城し、現在の犬山城付近に城を移しました。



愛宕神社拝殿と木之下城説明板





愛宕神社

あたごじんじや

犬山城
関連



神社境内の「金明水」



愛宕神社狛犬



木之下城の跡地に
鎮座する神社

愛宕神社は慶長11年（1606）、鍛冶屋町の刀工兼常が、当時の犬山城主小笠原吉次に願ひ出て、旧城地のこの場所に、天台宗の愛宕山長泉寺延命院を建立し、將軍地蔵を祀ったのがはじまりです。

その後、前原新田入鹿山白雲寺の良陳らが住僧となつて代々続きましたが、明治初年の神仏分離政策により、寺は廃され神社として残り、現在に至ります。

また、愛宕神社境内には「金明水」という井戸があり、どんな厳しい日照りでも水が枯れたことのない井戸として知られています。



了義山徳授寺

犬山城
関連



山門の赤が美しい
別名「赤門寺」

徳授寺は、木之下城主織田氏の一
族であったといわれる柏庭宗松が文
明8年（1476）に建立した臨済
宗妙心寺派のお寺です。

天正12年（1584）の小牧・長
久手の戦いの時に楽田青塚の陣営に
寺の建物が運ばれて一時荒廃しまし
たが、まもなく可児市の常楽寺に移
して伽藍が復興されました。ご本尊
は東美濃の大円寺山門の湛慶作聖観
世音菩薩を移して安置しています。
現在、ご本尊は秘仏となっています。



了義山 山号額



山門



本堂



犬山城下町

犬山城
関連



犬山城下町のジオラマ（犬山市文化史料館）



城郭構造を残した 風情ある町並み

犬山城下町は犬山城の築城に伴い、もともとあった町を整備して作られました。商人や職人の同業者を近くに住まわせて、町の発展を促したとされ、鍛冶屋町・魚屋町などの町名に名残が見られます。また、町の中央部に町人町を置き、それを囲むように侍町を配置したほか、城下町の外周を木戸や堀、土塁等で取り囲む総構えの城下町として守りを固めていました。現在も江戸時代と変わらない町割り（町の区画）がそのまま残り、江戸から昭和までの歴史的な建造物が立ち並びます。また、犬山城と有楽苑の茶室如庵は共に国宝に指定されています。



犬矢来が残る町並み



余坂木戸跡



ジオラマの拡大



内田門

犬山城
関連



古城の面影
今に伝える内田門

瑞泉寺境内にある荘厳な姿の門です。石段の下より見上げる風貌は堂々とした姿で威厳があり、参拝者を静かに迎えてくれます。この山門に至る石段の脇には樹齢300年ともされる巨大な楠があり、そちらも見物です。

この山門は、かつて犬山城にあった城門の内の一つ、内田門を移築したものとして残っています。もともとは犬山城の三の丸から城外の内田村へ出る場所に建てられていたのを、明治になって取り払われることとなり、現在の場所に移されたといわれています。犬山城下の風情を残す貴重な建物となっています。



内田門境内側より



瑞泉寺山門付近



各地に残る 犬山城の城門

犬山城関連



専修院 山門



専修院山門

犬山城二の丸の矢来門は城郭建築特有の高麗門という形で、裏側の本屋根と直交する二つの屋根があるのが特徴です。明治時代に解脱山専修院（丹羽郡扶桑町柏森字乙西屋敷62）に東門として移築されました。



専修院



徳林寺 標柱

犬山城の第一黒門は城郭建築特有の門で、初期城門の薬医門形式を残しています。明治時代に大龍山徳林寺（丹羽郡大口町余野2丁目201）に移築され、山門として利用されています。



徳林寺

犬山城松の丸東隅門は明治7年（1874）に常満寺山門に移築されたと伝わっています。古図によれば本瓦葺きの薬医門でした。近年の修理により、屋根は棧瓦に葺き替えられています。それ以外はほとんど変わっていません。

これらの他にも旧犬山城の城門は運善寺（一宮市浅井町）、浄蓮寺（一宮市千秋町）に移築され、初期城門の型式を今に伝えています。



常満寺



羽黒城跡

梶原氏ゆかりの地



羽黒城縄張り図（「中世城跡調査報告Ⅰ」より）

羽黒城跡は、名鉄小牧線羽黒駅から北西に行くこと約400メートル、犬山市文化会館の南側に位置する鎌倉幕府の御家人・梶原氏ゆかりの城跡です。築造は鎌倉時代で、建仁年間（1201～1204）にかけて建てられたものとされます。

現在当時の建物は残っておりませんが、跡地周辺は竹林となっています。

平成24年（2012）に発掘調査が行われ、土塁や堀など城跡に伴う遺構が確認されています。また、古代の瓦も出土しており、中世以前から何らかの施設があった可能性も指摘されています。



丘の上に立つ城跡





羽黒城古墳

羽黒城跡
関連



遺物出土状況



発掘風景



墨書



現在は竹林に覆われた羽黒城古墳

羽黒城跡はもともこの場所に
あった全長80メートルほどの前方後
円墳を利用した可能性があります。
現在、「羽黒城址記念碑」という
碑が建っている場所がまさに古墳の
前方部です。前方部の高さは約6
メートルで比較的良好な保存状態
です。前方部の周辺北側に一段低くな
る場所がありますが、古墳の環濠
であったのでは、と考えられていま
す。大正末期には、この場所に水が
たまり、水濠となっていた写真も
残っています。



羽黒城古墳





妙國山興禪寺

羽黒城跡
関連



梶原氏の繁栄を伝える古刹、興禪寺

興禪寺は臨済宗妙心寺派で、梶原

一族にゆかりの歴史ある寺院です。

鎌倉時代に梶原景時が「大日」と呼ばれる場所に真言宗の寺院を建立したのが始まりと伝えられます。

寺院は天正12年（1584）の小牧長久手の戦いによって焼失しますが、慶長7年（1602）、犬山城主小笠原吉次の寄進により再建され、現在に至っています。明治31年（1898）築造の本堂と、昭和14年（1939）築造の山門は、国の登録有形文化財です。



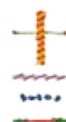
本堂



五輪塔群



境内



楽田城跡

織田家ゆかりの城



子ども達の
笑い声が響く城跡

楽田城は織田久長により永正年間（1504～1521）に築城されたと伝えられます。城跡には楽田小学校が建っており、城の遺構は大正年間まではある程度残っていました。今は天守台跡から移築した碑と土塁が僅かに残るのみですが周辺の街区に城跡の地割がよく残っています。

現在、楽田小学校北に裏門旧跡碑、北西旧木曾街道沿い（横町）に北之門旧跡碑及び南西（本町）に南之門旧跡碑が残っています。



北之門旧跡碑



裏門旧跡碑





萬祥山常福寺

ばんしょうざん じょうふく じ
 樂田城跡
 關連



樂田城主開基の寺

ご本尊は聖觀世音菩薩で、臨濟宗妙心寺派に属するお寺です。

建立は天正6年（1578）で、樂田城主梶川弥三郎高盛を開基とします。山門は樂田城裏門を移築したものと伝えられています。また境内の枝垂れ桜は4月上旬に見頃を迎え、多くの人でにぎわいます。境内には、梶川弥三郎高盛の墓があります。また、開基画像は犬山市指定文化財に認定されています。



🌸 本堂



🌸 常福寺からの風景



🌸 境内の地蔵



八幡林の古戦場

はちまんばやし
こせんじょう



小牧・長久手の戦いの前哨戦の場

八幡林の古戦場は名鉄小牧線「羽黒駅」南側付近であったと伝えられています。天正12年（1584）、羽柴秀吉と徳川家康・織田信雄との間で繰り上げられた小牧・長久手の戦いの前哨戦、「羽黒合戦」が行われた場所です。

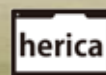
小牧・長久手の戦いが開始された際、羽柴秀吉方に組した武将、池田恒興は、犬山城を攻略しました。その恒興の娘婿である森長可もりながよしは、3千の兵を率いてこの八幡林の地に布陣しました。その後、長可の軍は家康方の武将とこの地で激突しますが、大敗します。長可の家臣の中で、豪傑として知られていた野呂助左衛門親子が討死にしたのもこの時とされ、近くに「野呂塚」と呼ばれる親子の墓と、大正7年（1918）に子孫が建てた碑が残っています。八幡林の古戦場は昭和の中頃までは松林となっていました。今はその場所に八幡社があります。



青塚砦

あおつかとりで

古ハ
戦幡
場林
関の
連



戦に利用された古墳

天正12年（1582）、小牧・長久手の戦いの際に羽柴秀吉側の武将森長可が青塚古墳の上に陣を敷いて砦として利用したと伝えられています。陣を構えた森長可は、森蘭丸の兄で、秀吉の重臣でしたが長久手の戦いで戦死しています。

現在は、史跡公園になっています。



整備前の青塚古墳



戦の様子を再現したミニチュア



戦の様子を再現したミニチュア



物狂峠

ものぐるいとうげ

ハ幡林の
古戦場関連



その名も怖い小牧・
長久手の戦いの縁の峠道

犬山市南端の楽田地区から小牧市池之内へと向かう道にある峠です。小牧・長久手の戦いの際、秀吉陣営の武将であった池田恒興と森長可^{もりながよし}は、家康陣営に長久手の地で大敗します。地名の由来は、戦に負けた兵達が死に物狂いでこの峠を敗走してきたことからついたと言われています。



● 物狂峠付近の風景（葭池）



野呂塚

のるづか

ハ幡林の
古戦場関連



森長可の忠臣、
野呂助左衛門之碑

天正12年（1584）の小牧・長久手の戦いの前哨戦ともいわれる羽黒合戦では、秀吉方の森長可^{もりながよし}が家康方の酒井忠次、榊原康政らに八幡林で急襲を受け、大敗を喫しました。逃げ場を失った森軍が混乱する中、長可の家臣野呂助左衛門の奮闘により長可はかろうじて犬山城まで逃げ

帰ることができたと伝わります。助左衛門は松平家信により討ち取られました。助左衛門の嫡男野呂助三もまたこの合戦で命を落としました。

野呂父子の死を悼み、大正7年（1918）に当時の羽黒青年会によって顕彰碑が建立されました。「野呂助左衛門之碑」前では、現在も年一回の供養祭が行われています。

犬山市内

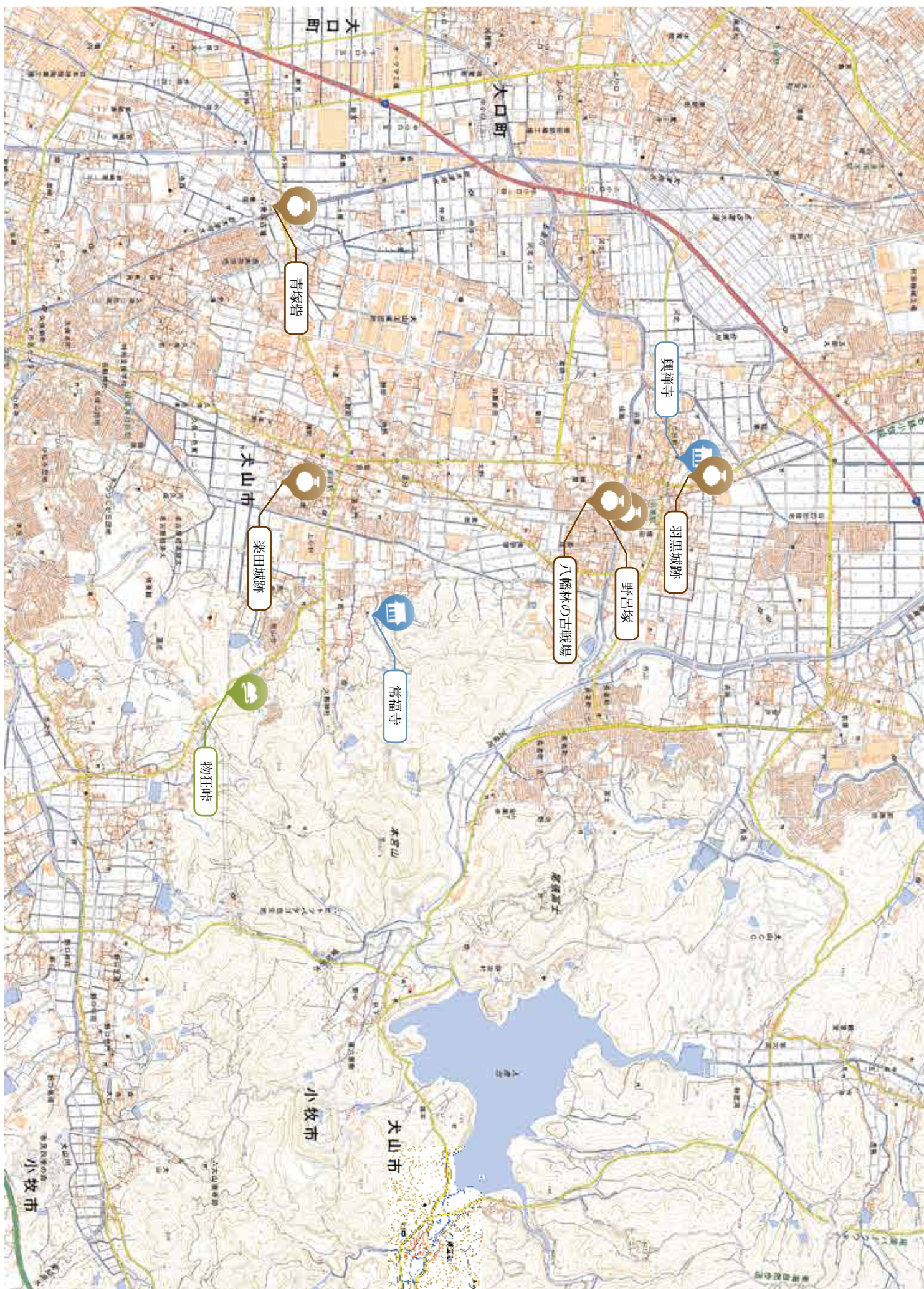


コッパを持つて、
文化遺産に出会う旅に出発！

- | | | | |
|--|----------|--|------|
| | 遺跡
史跡 | | 建築物 |
| | 祭り | | 交通 |
| | 自然
景観 | | おすすめ |

0 2 (km)
(縮尺：1/35,000)
(地理院地図電子国土 Web を加工して作成)





犬山たび

城・古戦場の巻



小牧・長久手の戦い年表

年月日	主な出来事
天正 10 年 (1582)	織田信長次男信雄の武将中川定成、犬山へ入城
天正 12 年 (1584)	
3 月 3 日	信雄、秀吉に内通したとして三家老を殺害
3 月 13 日	秀吉方となった池田恒興、犬山城を占拠 池田恒興、兵を小口、楽田に進軍
3 月 15 日	徳川家康、清洲城から小牧山に入城し、布陣
3 月 16 日	秀吉方森長可（もりながよし）、小牧山城を目指し八幡林に布陣 徳川方酒井忠次・榊原康政ら羽黒へ向かい布陣
3 月 17 日	徳川方の奇襲攻撃、小牧・長久手の戦いの前哨戦である羽黒合戦始まる 森長可敗走、重臣野呂助左衛門、助三父子の活躍で犬山城へ逃げのびる 野呂父子は討死
3 月 21 日	秀吉、大坂を発ち犬山城へ入城 進軍して楽田城を本陣とする
3 月 28 日	家康、小牧山に入る
3 月 29 日	信雄、小牧山に入る
4 月 9 日	長久手の合戦始まる 池田恒興、之助父子、森長可ら秀吉方有力武将戦死
11 月 11 日	秀吉、信雄和議が成立 犬山城は信雄に返却



引用・参考文献一覧（全巻共通）

愛知県犬山市役所秘書企画課 『犬山のむかしばなし』 犬山市役所 1983
愛知県犬山市役所秘書企画課 『犬山のむかしばなし 第2集』 犬山市役所 1987
愛知県犬山市役所 『犬山ものがたり』 犬山市役所 2004
愛知県教育委員会 『中世城跡調査報告書Ⅰ』 愛知県教育委員会 1991
愛知県史蹟名勝天然記念物調査会 『愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 第10 史蹟其八 名勝其四 天然記念物其十』 愛知県 1927
愛知県史編さん委員会 『愛知県史 資料編4 考古4』 愛知県 2010
愛知県史編さん委員会 『愛知県史 別編 自然』 愛知県 2010
犬山市エコアップリーダー 『犬山の巨樹・古木50選』 巨樹巨木調査グループ 2004
犬山市教育委員会 『犬山市の文化財』 犬山市教育委員会 1993
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会 『犬山市史 史料編3 考古 古代・中世』 犬山市 1983
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会 『犬山市史 別巻文化財・民俗』 犬山市 1985
犬山市教育委員会・犬山市史編さん委員会 『犬山市史 通史編上』 犬山市 1997
犬山市教育委員会 『全市博物館構想 市民が創る生涯学習のまち』 犬山市教育委員会 2002
犬山市教育委員会 『犬山城総合調査報告書』 犬山市教育委員会 2017
犬山城白帝文庫歴史文化館 『図説 犬山城』 公益財団法人犬山城白帝文庫 2014
木曾川学研究協議会 『木曾川とともに歩んだ各務原 犬山 岐南 笠松』 木曾川学研究協議会 2010
佐藤重造・横山住雄 『各務原の歴史散歩』 石亀神社 1986
横山住雄 『犬山の歴史散歩』 1991



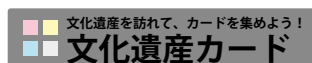
たびにオススメの資料

犬山城下町について

『犬山城下町マップ』犬山城下町の詳細マップ。犬山祭を見学する際は、携帯していると便利です。犬山観光案内所などで配布。

文化遺産カードについて：文中に、herica マークがついているものは、「文化遺産カード」がある文化遺産です。文化遺産を訪れてカードをたくさん集めましょう！

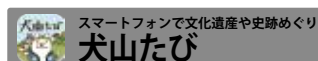
・「犬山城」・「木之下城跡」・「青塚岩」... 配布場所：青塚古墳ガイダンス施設 ※詳細は下記をご参照ください。



HP(<http://herica.net>)



文化遺産カードの楽しみかた



文化遺産ナビとは、スマートフォンで利用できる犬山の文化遺産ナビシステムアプリです。どこにどんな文化遺産があるのか、またどんな方法で訪れればいいのか、簡単に調べる事ができます。



「犬山文化遺産ナビとは」

犬山市は愛知県の北西部にある豊かな自然や多くの文化遺産が残る地域です。犬山文化遺産ナビでは、犬山の魅力がわかるモデルコースや、見どころスポットをお伝えします。また、犬山市に伝わる物語もアニメでお楽しみいただけます。

犬山たび 「城・古戦場の巻」

発行年

平成31年3月22日

発行

犬山市文化遺産活用実行委員会（犬山市教育委員会）

〒484-8501

愛知県犬山市大字犬山字東畑36 犬山市役所

企画・編集

ナカシャクリエイト株式会社

〒468-8533 名古屋市天白区井の森町205番地

【編集協力】特定非営利活動法人

古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク

【写真協力】中野耕司

※本書の内容、テキスト、画像の無断転載、無断転用を禁止します。

犬山たび 全6巻

「祭の巻」「街道の巻」「城・古戦場の巻」

「古墳の巻」「物語の巻」「産業の巻」



犬山たび